

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 7 月 5 日(2022.7.5)

【公開番号】特開 2021-3191(P2021-3191A)

【公開日】令和 3 年 1 月 14 日(2021.1.14)

【年通号数】公開・登録公報 2021-002

【出願番号】特願 2019-117344(P2019-117344)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 6 月 27 日(2022.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0 0 0 6】

本発明は、上記の課題を解決するために以下の構成を採用した。

本発明に係る遊技機は、初期位置から特定位置に動作可能な可動体と、始動条件の成立に基づいて、遊技者にとって有利な特別遊技を実行するか否かを判定する判定手段と、図柄を変動表示させてから前記判定手段の判定結果を示す図柄を停止表示させる図柄表示手段と、変動表示中の演出を制御する演出制御手段と、を備え、前記演出制御手段は、前記可動体の輪郭の少なくとも一部を表す輪郭対応表示を表示手段に表示可能であり、前記輪郭対応表示は、前記可動体を前記特定位置に動作させていないときに前記特定位置とは異なる表示位置に表示することで前記特定位置における前記可動体の形を示唆しない非示唆表示パターンにより表示可能であり、前記非示唆表示パターンにより前記輪郭対応表示を表示し、前記輪郭対応表示の表示後に前記可動体を動作させないときと、前記非示唆表示パターンにより前記輪郭対応表示を表示し、前記輪郭対応表示の表示後に前記可動体を前記特定位置に動作させるときと、がある。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

40

初期位置から特定位置に動作可能な可動体と、

始動条件の成立に基づいて、遊技者にとって有利な特別遊技を実行するか否かを判定する判定手段と、

図柄を変動表示させてから前記判定手段の判定結果を示す図柄を停止表示させる図柄表示手段と、

変動表示中の演出を制御する演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、前記可動体の輪郭の少なくとも一部を表す輪郭対応表示を表示手段に表示可能であり、

前記輪郭対応表示は、前記可動体を前記特定位置に動作させていないときに前記特定位置とは異なる表示位置に表示することで前記特定位置における前記可動体の形を示唆しない

50

非示唆表示パターンにより表示可能であり、
前記非示唆表示パターンにより前記輪郭対応表示を表示し、前記輪郭対応表示の表示後に
前記可動体を動作させないときと、
前記非示唆表示パターンにより前記輪郭対応表示を表示し、前記輪郭対応表示の表示後に
前記可動体を前記特定位置に動作させるときと、がある、遊技機。

10

20

30

40

50